

## 令和4年9月定例会一般質問（概要）

令和4年10月11日（火）

質問者：和田 賢治議員



大阪維新の会、大阪府議会議員団の 和田賢治 です。

通告に従い、順次質問させていただきます。今回は質問項目が「新しいグランドデザイン大阪の策定について」の1項目で、4つの質問をさせていただきます。心を込めて質問をさせていただきますので、大阪都市計画局長には丁寧なご答弁を賜りますようお願いを申し上げますとともに、知事におかれましても今回の質疑をよくお聞きいただければと思いますので、重ねてお願い申し上げます。

### **新しいグランドデザイン大阪の策定について**

① 新しいグランドデザイン大阪における、なんば・天王寺・あべのエリアのまちづくりについて、質問します。

グランドデザイン大阪について、三期以上の議員の方々にはよくご存知かと思いますが、一期・二期の議員の皆様でご存知ではない方もいらっしゃるかもしれませんので、まずはご説明させていただきます。パネルをご覧ください。

# グランドデザイン・大阪



出典：大阪都市計画局 「グランドデザイン・大阪」より抜粋

1

グランドデザイン大阪の表紙です。14 ページの冊子になっておりまして、平成 24 年 6 月に策定されました。大阪の将来像、2050 年を目標として短期・中期・長期と定め、大阪市内を 6 つのエリアに分けてそれぞれのポテンシャルや、今後の取り組みをまとめたものです。

**各エリアのポテンシャルと今後の取組み**  
6つのエリアのポテンシャルと今後の取組みについて示します。

**新大阪・大阪エリア**

大都市間をつなぐ大阪都心の玄関口としての機能を活かす

**ポテンシャル**

- 大都市間をつなぐ広域的な交通利便性（東京～名古屋～大阪にいたるメガ・リージョンの形成）
- 新大阪周辺の専門学校等の集積、大阪の玄関口としての機能
- 淀川自然、花火大会、柴島浄水場
- 百貨店等商業施設、多様なオフィス、ホテル等の集積
- 国際機関総合特区 など

今後の取組み	短期	中期	長期
	2015	2025	2050
<p><b>&lt;短・中期&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>うめきたと周辺のみどり化</li> <li>地区建築組織によるにぎわい創出</li> <li>大阪駅空中カフェの実現</li> <li>駅南側から夢楽橋へのみどりの形成</li> </ul>			
<p><b>&lt;中・長期&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>柴島浄水場用地の活用</li> <li>水道統合協議を踏まえた用地活用の構想</li> <li>淀川花火、夜景を活かした集客魅力向上</li> <li>新大阪・大阪の一体化</li> <li>淡路～新大阪～大阪に至る連絡鉄道</li> <li>リニア中央新幹線の早期開業</li> <li>強い大都市圏形成に欠かせないリニア中央新幹線の東京・名古屋・大阪、同時早期開業</li> </ul>			

出典：大阪都市計画局 「グランドデザイン・大阪」より抜粋

2

新大阪・大阪エリアです。うめきた周辺のみどり化やリニア中央新幹線の早期開業といったものが描かれているものです。

## 大阪城・周辺エリア

**ポテンシャル**

- 大阪城の歴史文化
- 大阪城公園のみどり豊かな環境
- 中之島・大川・大阪城の隣等の水辺空間
- 大規模ホール、音楽ホール、美術館、博物館、庭園、通り抜け等の文化施設
- 国、府、警察、病院等中核機能の官公庁の集積
- 広大な旧砲兵工廠跡地など

大阪都心部最大のみどり・上町台地の地形を活かす

**今後の取組み**

**<短期>**

- >大阪城公園と周辺のにぎわい創出
- ・周辺の回遊性の向上

**<短・中期>**

- >世界的観光拠点としての魅力向上
- ・梅・桜街道と水の回廊のネットワークづくり
- >森之宮周辺の活性化
- ・成人病センター跡地活用の構想づくり具体化
- ・大阪城公園との一体化

出典：大阪都市計画局 「ランドデザイン・大阪」より抜粋

3

大阪城周辺エリアです。成人医療センターの跡地活用や今決まっております大阪公立大学キャンパスの誘致といったことが描かれております。

## 舞洲・咲洲エリア

**ポテンシャル**

- 国際コンテナ戦略港湾
- 国際戦略総合特区
- 国際会議・見本市等のコンベンション機能
- 複数の国際級ホテル
- 大規模開発用地
- 大規模テーマパーク
- 天保山ハーバービレッジ（水族館、大観覧車等）
- 天保山岸壁（大型クルーズ客船入港）
- など

海の玄関口として、新工ネ産業、国際観光エンターテインメントの誘致を活かす

**今後の取組み**

**<短期>**

- >物流機能の強化
- ・集荷機能の強化
- ・産業の立地促進による創荷
- ・氏の視点による港湾経営主体の確立

**<短・中期>**

- >環境・新工ネ産業の誘致
- ・スマートコミュニティ実証実験
- ・特区を活かした企業誘致
- ・防災体制の構築
- >国際観光エンターテインメント
- ・フェリー・クルーズ船の拠点化
- ・コンベンション等による集客

**<長期>**

- >鉄道アクセスの強化
- ・JR桜島線の延伸

出典：大阪都市計画局 「ランドデザイン・大阪」より抜粋

4

舞洲・咲洲エリアです。物流機能や鉄道アクセスの強化や万博・IRの誘致、ランドデザイン大阪作成時はまだ出ていませんでしたが、現在誘致が決まっております。

## 御堂筋・周辺エリア



**ポテンシャル**

- 堺筋～御堂筋～四ツ橋筋のオフィス、ショップの集積
- 大阪のシンボル・ストリートとしての風格、美しいイチョウ並木
- 御堂筋イルミネーション、kappo等季節を感じるイベント
- 三体横筋の旧大和証券ビル等の近代建築の集積と無電柱化した綺麗な街並み
- 道修町、神社、仏閣等、大阪の歴史と伝統の空気感漂う街並み
- 船場、道頓堀等の地域活性化の市民活動 など

御堂筋の空間再編など、大阪都心の顔としての魅力・集客力を活かす

**今後の取組み**

**<短期>**

- >御堂筋側道の歩行者空間化
  - ・緩速車線の利活用 など
- >近代建築物の保全・活用
  - ・用途転換、無電柱化 など

**<短・中期>**

- >堺筋～御堂筋～四ツ橋筋の魅力・景観向上
  - ・景観のルール作り（高さ規制、ファサードの美化等）
  - ・居住機能の充実（滞在型施設の誘導など）
  - ・御堂筋沿道のクオリティの向上にぎわい空間の形成

**<長期>**

- >全面みどり化
  - ・環状道路整備にあわせた自動車交通の排除
  - ・まちの魅力をつなぐLRT

出典：大阪都市計画局 「ランドデザイン・大阪」より抜粋

5

御堂筋・周辺エリアです。御堂筋側道の歩行者空間化や全面みどり化が描かれております。

## 中之島・周辺エリア



**ポテンシャル**

- 中之島をはじめとした水の回廊
- 中之島公園を中心に展開している光のルネサンス
- 国際会議場や国際ホテル等のコンベンション機能の集積
- 図書館、北浜レトロビル、川口教会等風格ある歴史的建築物
- コンサートホール、東洋陶磁美術館等、文化施設の集積 など

水都大阪のシンボル・歴史の豊かさ・コンベンション機能を活かす

**今後の取組み**

**<短・中期>**

- >水都大阪のシンボルアイランド化
  - ・ライトアップの時間延長
  - ・中之島緑道の回遊性向上
  - ・水・みどり・光を活かす歩行者ネットワークづくり
- >中之島西部地域の魅力向上
  - ・中之島4・5丁目のにぎわいの創出
  - ・国際会議場の活用
  - ・歴史的建築物の再生、活用

**<長期>**

- >鉄道アクセスの強化
  - ・京阪中之島線の延伸

出典：大阪都市計画局 「ランドデザイン・大阪」より抜粋

6

中之島・周辺エリアです。水都大阪のシンボルアイランド化が掲げられており、中之島西部地域の魅力向上に取り組むということです。

なんば・天王寺・あべのエリア



**今後の取組み**

**<短期>**

- > 日本一の近鉄ビル・あべのハルカス・周辺施設と一体となったにぎわいの創出
- > 世界一の都市型動物園をめざす  
天王寺動物園
  - ・ 生動的展示、緑陰都市を先導する魅力ある動物園

**<短・中期>**

- > 難波駅前のみどり化
  - ・ 南海会館の建替えと併せた難波駅前のみどり化
- > なんば～あべの一体化
  - ・ 緑陰の道を通るLRTでまちをつなぐ
  - ・ 動物園公園を核として、エリア全体の魅力を高めるエリアマネジメント

\* LRT : Light Rail Transit の略。軌道式車両の活用や軌道・電線の改良による乗降の利便性、空間性、環境性、快適性などの面で優れた特徴を有する次世代の軌道式交通システム

出典：大阪都市計画局 「グランドデザイン・大阪」より抜粋

7

そして最後に、なんば・天王寺・あべのエリアでございます。なんば駅前のみどり化や、なんばからあべの一体化が示されております。



出典：大阪都市計画局 「グランドデザイン・大阪」より抜粋

8

その中で注目いただきたいのは、私が以前から質問を何度かさせていただいておりますLRTです。LRTはパネルの緑のラインです。あべの・天王寺の駅前をとおり、天王寺公園（今のてんしば）や天王寺動物園をとおり、新世界の北側や日本橋商店街、堺筋をとおり、なんさん通りを

とおり、なんばの高島屋までLRTを通していこうという構想が書かれております。

これは、大阪府と大阪市の行政が、ランドデザインを示しており、これを契機として、平成26年には、地元有志の方々が、「日本橋にトラムを通してにぎわいを進める会」を立ち上げ、平成28年には、「日本橋まちづくり構想（たたき台）」を作成し、ひと中心のまちづくりやLRTの導入に向けた活動を行ってこられました。

現在、新しいまちづくりのランドデザインの検討が進められていますが、この度、たたき台が示され、今後の大阪のまちづくりの基本目標として、「未来社会を支え、新たな価値を創造し続ける、人中心のまちづくり」を掲げられています。

これは、地元有志の方々の日本橋での活動の方向性とも、合致するものと考えています。

新しいランドデザインにおいて、これまで象徴的なエリアの一つとして示されていた「なんば・天王寺・あべのエリア」にて、人中心のまちづくりを実現するための取組の方向性について、どのように考えているのか、大阪都市計画局長に伺います。

（大阪都市計画局長答弁）

○ 新しいランドデザインは、2050年に向けた大阪全体のまちづくりの方向性を示し、多様な主体がその将来像を共有し、民間活力を最大限引き出しながら、各種取組を一体となって推進するための羅針盤となるものと認識。

○ お示しの「なんば・天王寺・あべのエリア」では、成長・発展をけん引する拠点エリアを形成するという戦略のもと、拠点エリア形成に向けて、来街者が居心地よく過ごし地域間を快適に回遊できるまちづくりを進めることを示している。

○ このような人中心のまちづくりの実現に向けた取組の方向性として、歩いて楽しい滞在空間の創出や新たなモビリティなどを活用した回遊性の向上等を考えており、市町村等の意見も踏まえながら検討を進め、年内を目途に策定していく。

② 今回の新しいまちづくりのランドデザイン（たたき台）を見せていただいたら、その中になぜかLRTが示されていませんでした。今まで一般質問7回中、6回はランドデザイン、LRTについて質問し、お願いもさせていただいておりました。しかし、なぜか今回のたたき台にはLRTが示されておられません。そのため、地元の「トラムの会」の方々が、大阪市に陳情書を提出されました。先般、9月20日の大阪市会都市計画委員会にて、この陳情書に対する質疑が行われました。

『この「新たなモビリティを活用したまちづくり」については、最近のAIや自動運転技術といった新しいテクノロジーを活用した多様なモビリティを幅広くとらえていくとのことですが、このなかに、LRTも含ま

れると考えてよいのか、お伺いいたします。』という問いに対し、『この「新たなモビリティ」としては、最新のA I や自動運転技術といった新しいテクノロジーを活用した多様なモビリティの実用化や、更なる発展も見込まれる中、移動の需要やニーズに応じたA I を活用したオンデマンド交通や自動運転バス・タクシー、回遊性の向上や観光振興にも資するL R T やグリーンスローモビリティ、パーソナルモビリティなど、幅広くとらえる必要があると考えています。』といった答弁がありました。

「幅広くとらえる必要がある」という、つれないご答弁でありました。たたき台の中では、新たなモビリティということで、電動キックボードやグリーンスローモビリティといったものは位置付けられています。L R T がなぜか欠けているということでありました。

さきほどの答弁にあったように、新しいグランドデザインでは、「なんば・天王寺・あべのエリア」における取組の方向性として、新たなモビリティなどを活用した回遊性の向上等を考えられているとのことですが、新たなモビリティにL R T は含まれると考えてよいのか、はっきりとお答えいただきたいと思いますが、大阪都市計画局長に伺います。

(大阪都市計画局長答弁)

○ 新しいグランドデザインでは、拠点エリアを形成する等の戦略に加え、これらを支える、人・モノ・情報の交流を促進するという戦略のもと、回遊性の向上などに資する新たなモビリティを活用したまちづくりを示したいと考えている。

○ この新たなモビリティとしては、最新のA I や自動運転技術といった新たなテクノロジーを活用した多様なモビリティの実用化や、その更なる発展も見込まれる中、幅広くとらえる必要があると考えている。

○ 具体的には、移動の需要やニーズに応じたA I を活用したオンデマンド交通や自動運転バス・タクシー、回遊性の向上や観光振興にも資するL R T やグリーンスローモビリティ、パーソナルモビリティなどが考えられ、L R T も含まれるものと認識。

③ 「L R T も含まれるものと認識している」と答弁いただいて少しホッとしました。平成24年9月議会で当時の松井知事に『グランドデザイン・大阪では、この天王寺公園、特に天王寺動物園の魅力を高め、動物園を核に緑の雰囲気や緑陰の道として動物園の外に拡大し、さらに天王寺、阿倍野と難波の間をL R T で結んで回遊性を高めていくという案が示されており、天王寺駅から公園の中を抜け、通天閣の北を通り、堺筋を北へ、そこから西に難波へと結ぶのが、緑陰の道です。この緑陰の道をL R T が通っていきます。』

L R T は、輸送量が少ないながら、導入コストや環境負荷が低く、都市の新しい交通手段として注目を集めております。緑の道をL R T が通り、難波と天王寺、阿倍野をつないで一体化するというこの構想は、実に的を

射たものであり、今後の展開に大変期待いたしてるところでございます。

魅力がアップした天王寺公園とあべのハルカス周辺のレストランやショップ、新世界のにぎわいが一体化すれば、地域の発展にもつながります。LRTの窓から、コアラやホッキョクグマが間近に見られるようになれば、難波・天王寺・阿倍野エリアが、子どもたちにも楽しいエリアになっていくのではないのでしょうか。夢のある構想を夢と終わらせないためには、府民、市民に対して早期に形を見せていくことが重要であります。

事業主体やルートの検討、国の交通審議会答申への盛り込みなど、LRTの実現に向け、まずは集中的に取り組んでいくべきと考えますが、知事の御所見をお伺いいたします。』と伺ったところ、このような答弁をいただきました。パネルをご覧ください。

平成24年9月定例会本会議

松井知事 答弁

- **LRTの取り組みにつきましては、難波、天王寺、阿倍野の間の回遊性を高め、一体的なエリアとしての魅力を引き出す仕掛けとしては非常に有効であり、重要であります。**
- **今後、大阪市、経済団体の参画を得て設立をいたしましたグランドデザイン・大阪推進会議の場を通じまして、鉄道事業者等の協力を得ながら、段階的施工も含め、検討を深めてまいります。**

9

出典：大阪府議会 会議録より抜粋

『LRTの取り組みにつきましては、難波、天王寺、阿倍野の間の回遊性を高め、一体的なエリアとしての魅力を引き出す仕掛けとしては非常に有効であり、重要であります。

今後、大阪市、経済団体の参画を得て設立をいたしましたグランドデザイン・大阪推進会議の場を通じまして、鉄道事業者等の協力を得ながら、段階的施工も含め、検討を深めてまいります。』と答弁いただいております。

また、平成28年9月議会で当時の住宅まちづくり部長に質問させていただいております。『なんば駅前と日本橋の地元の方々がつながってきたということ、またなんば・天王寺・あべのエリアの活性化、一体化に向けて着実に進んでいると大変強く感じたところでもあります。特に先ほどお話もありました私の地元浪速区の日本橋にトラムを通してにぎわいを進



める会の方々は、全国のさまざまな地域に自費で視察に行かれたり、ワークショップや勉強会を重ねておられます。行政が、グランドデザイン・大阪で大阪の将来像を描いた、それに触発された地元が動き出した、そういうことなんです。

先ほどの答弁にもありましたが、この地元の熱意と行政の支援の両輪で取り組まなければ、このグランドデザイン・大阪は、いわば絵に描いた餅になりかねません。

再度、部長にこのLRTに対する取り組みについての決意をお伺いしたいと思います。』と質問させていただきました。

平成28年9月定例会本会議

## 堤勇二住宅まちづくり部長 答弁

- ・ グランドデザイン・大阪は、先ほども申し上げましたように、人中心の都市構造への転換というこれまでにない計画という取り組みをしております。なんばーあべの間の緑陰道とLRTによるまちの一体化、それはほかにも大阪城東部、そして御堂筋の全面みどり化などに当たりましても、民間の力を引き出して実現していくという先導的な事例になるのではないかなと私は考えております。
- ・ とりわけ、LRTにおきましては、人中心の都市空間創造の切り札と考えておまして、なんば・天王寺・あべのエリアの人々をつなぎ、エリアの一体感を高めるためにも不可欠なものでございます。
- ・ このLRTの実現に向けまして、地元初め関係者の皆様方のお力添え、そして実行力、それを糧にしまして、より一層積極的に取り組んでまいりたいというふうに思います。

10

出典：大阪府議会 会議録より抜粋

『グランドデザイン・大阪は、先ほども申し上げましたように、人中心の都市構造への転換というこれまでにない計画という取り組みをしております。なんばーあべの間の緑陰道とLRTによるまちの一体化、それはほかにも大阪城東部、そして御堂筋の全面みどり化などに当たりましても、民間の力を引き出して実現していくという先導的な事例になるのではないかなと私は考えております。

とりわけ、LRTにおきましては、人中心の都市空間創造の切り札と考えておまして、なんば・天王寺・あべのエリアの人々をつなぎ、エリアの一体感を高めるためにも不可欠なものでございます。

このLRTの実現に向けまして、地元初め関係者の皆様方のお力添え、そして実行力、それを糧にしまして、より一層積極的に取り組んでまいりたいというふうに思います。』と答弁いただきました。

そのような中、グランドデザイン大阪とグランドデザイン都市圏（平成28年策定）を合算して新しくグランドデザインが策定されますが、その

中に残念ながらLRTが載っていないということです。

地元有志の方々は、人中心のまちづくりやLRTの導入に向けた活動を熱心に行っています。そのことを踏まえ、改めて伺いたいと思います。

現在、策定に向けて、検討が進められている「新しいまちづくりのグランドデザイン」の人・モノ・情報の交流を促進するという戦略の中にLRTを示していただきたいと考えていますが、大阪都市計画局長の所見を伺います。



(大阪都市計画局長答弁)

○ さきほど答弁したとおり、新しいグランドデザインでは、人・モノ・情報の交流を促進するという戦略のもと、回遊性の向上などに資する新たなモビリティを活用したまちづくりを示したいと考えており、その新たなモビリティについては、技術のさらなる進展も見込まれる中、LRTも含め、幅広くとらえる必要があると考えている。

○ 今後、こうした考え方のもと、議員のご指摘の点を含め、市町村や関係機関等の様々なご意見を踏まえながら、検討を進め、年内を目途にグランドデザインを策定していく。

④ ぜひ、前向きに検討いただきますようお願いしておきます。最後にグランドデザイン策定後の「なんば・天王寺・あべの」エリアでのまちづくりの進め方について伺います。

先ほども申し上げましたが、「トラムの会」の方々は自費で様々なところに視察に行かれたり、勉強会を開いたり、アンケート等もとられ、熱心に取り組んでおられます。

今、なんば駅周辺では、大阪・関西万博の開催に向け、人中心の空間に再編するための工事が行われており、御堂筋でも、側道歩行者空間化に向けた整備が行われています。

私としては、こうした人中心のまちづくりが、日本橋、天王寺まで広がり、将来的に実現して欲しいと思っています。

新しいグランドデザインを策定した後、すみやかに日本橋でまちづくりに取組まれている地元の方々の話をじっくり聞いて、協力できるところは協力いただきたいと考えますが、大阪都市計画局長の所見を伺います。

(大阪都市計画局長答弁)

○ 歩いて楽しい滞在空間の創出や新たなモビリティなどの活用による回遊性の向上について、日本橋周辺で取り組む場合には、道路交通への影響や地元の合意形成等、様々な課題について検討していく必要があると認識。

○ さらに、今後のまちづくりにおいては、回遊性の向上に資するAIや自動運転等の先端技術の動向等にも注視していく必要があると考えている。

○ こうした観点から、グランドデザイン策定後、人中心のまちづくりについて、地元の有志の方々をはじめとした関係者と、幅広く意見交換を行っていく。

LRTは大阪の阪堺線はじめ、富山県等各地で以前から走っていますが、決して古い乗り物ではございません。今工事を行っていますが、栃木県宇都宮市では、来年の春に新たにLRTが開通予定となっています。新しいモビリティにぜひ位置付けていただきたいと思います。これからも私のライフワークとして今まで以上にこのグランドデザインやLRTの実現に向けて取り組んでいきたいと思っています。

ぜひ、地元有志の方々の取組みにもしっかりと耳を傾けて頂くとともに、新しいまちづくりのグランドデザインには新しいモビリティの一つとして、LRTが位置付けられるよう、推進本部会議にも参加されている吉村知事にも強く要望いたしまして、私の一般質問を終わらせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。